



全国山名氏一族会
〒67-1311 兵庫県美方郡喜美町村岡区
667-1311 村岡2605 法雲寺内
電話 0796-1981115
FAX 0796-1981116

本年度常任理事会を開催

去る3月12日に京都市のセントノームホテルにて常任理事会を開催し、山名靖英理事長をはじめ役員7名のご出席の元、第25回総会の報告及び、本年度の活動などについて協議いたしましたので、その概要をご報告します。

第25回山名会総会の総括

昨年11月に山名氏の発祥の地である高崎市山名町、新田氏の本拠地であった太田市の関連史跡を巡るコースで山名会総会を実施いたしました。総会の内容につきましては前会報を参考にさせていただき、総会行事に関する感想や反省点としては、

- ・ 1泊2日の限られた時間内に多くの史跡見学が出来たように思える。
- ・ 事前の準備が入念で、スムーズに行事が行えたのではないかと。
- ・ 光臺寺で多くの方々に迎えられて恐縮した。



京都市内のホテルにて昼食を取りつつ常任理事会を行いました。理事様方にはご参集有り難うございました。

・ 今回の参加者は18名（全日程参加14名、日帰参加4名）で、もっと多くに会員さんに参加しやすい計画を考える必要がある。

・ 徒歩移動のところでは、時間を大目に取る必要を感じた。などのご意見をいただきました。総会会計の報告

会計面については左表の決算書の通りで、山名会会計からの活動助成金（総会赤字の補填）は3万5千円まででおさまり、安堵しております。

また、総会開催に際しましては、宮田相談役・草山副理事長・宇野隆氏の各氏より総会協賛金として多額のご寄付をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。次総会ではより多くの皆様に参加いただけるよう充実した内容の総会を計画したいと思いますので、ご参加の程よろしく願います。

第25回山名会総会 会計決算

H30/11/10~11 実施

| | 決算額 |
|------|---------|
| 収入総額 | 533,810 |
| 支出総額 | 533,810 |
| 差引 | 0 |

収入の部

| 項目 | 決算額 | 摘要 |
|-------|---------|-----------------|
| 会員参加費 | 442,000 | 全日程参加14名、日帰参加4名 |
| 協賛金 | 57,000 | 有志ご寄付。協賛一覧参照 |
| 助成金 | 34,810 | 通常会計より助成 |
| 雑収入 | 0 | |
| 合計 | 533,810 | |

支出の部

| 項目 | 決算額 | 摘要 |
|-----|---------|-------------------|
| 謝礼 | 46,000 | 講師・史跡ガイド・運転手・旅館 |
| お供え | 60,000 | 永福寺・金龍寺・光臺寺 |
| 昼食費 | 57,780 | 10日アートマルシェ、11日寒山亭 |
| 宿泊費 | 257,830 | ホテルふせじま |
| バス代 | 111,660 | マックトラベル |
| 雑費 | 540 | 送金料 |
| 合計 | 533,810 | |

総会特別協賛一覧

| お名前 | 協賛額 |
|-------|--------|
| 宮田靖國様 | 37,000 |
| 草山 宏様 | 10,000 |
| 宇野 隆様 | 10,000 |
| 合計 | 57,000 |



山名八幡宮の神馬像

本年度の活動について

第26回総会の計画など

後述の山名蔵の修繕事業の仕上がり具合の検分を兼ねて、11月頃に、但馬（兵庫北部）・山陰方面を1泊2日の行程で巡る計画を進めることといたしました。

具体的な見学場所やコースにつきましては、これから計画を進めたいと思いますが、常任理事会の席では、11月の山陰は「蟹のシーズン」ですので、参加費との兼ね合いで、どこまで満足行くものになるか分かりませんが、修繕事業の検分や史跡探訪だけでなく出来れば蟹や温泉も楽しめるような計画が立案できればと考えています。計画が具体化するまで、今しばらくお待ちください。

なお、他の総会候補地としては、鎌倉方面や、磐田市の山名郷や牧ノ原の静岡山名氏の足跡を静岡県に訪ねるコースも話題に上がりました。今後の参考にしたいと思えます。

その他の課題としては、山名会の一般社団法人化の件、山名会の小冊子「山名第七号」発行の件などもございます。いずれも、会計状況と相談しながら進めたいと思いますので、ご理解の程よろしくお願いたします。

山名蔵修繕事業の協力について

『山名蔵』は山名会が事務局を置く法雲寺内に設立されている山名氏専門の歴史史料館です。

元々は法雲寺に伝わる村岡山名由来の史料や寺宝を展示・保管するために昭和40年代に建設された小さな史料館だったのですが、山名会が発足した平成の初年頃に山名会会員や関係者から山名氏関連の各種史料のご寄贈を受けて、今までの小さな史料館では収蔵が追いつかなくなり、山名会のご協力も得て現在の規模に建て直したものです。

建物は、土蔵造りの2階建てで、広さは建坪30坪（60条）で、延べ坪は60坪（120条）あり、現在150点ほどの史料を保管しています。

その山名蔵も建設から約30年、



旧「山名蔵」法雲寺に伝わる史料を展示保管のため昭和40年代に建設。



現在の「山名蔵」を発足をきっかけとして山名会が発足した史料を所蔵された。

土蔵作りの建物はまだまだ大丈夫なのですが、建設当初は、白と黒の対比が鮮やかだったナマコ壁は塗装が色褪せ、漆喰は剥離やヒビが目立つようになってきました。今後の30年〜50年の維持管理を考えると、ここで一度、塗装を中心とする外装の修繕作業を施しておくべきと考えています。唯一無二の山名氏専門の史料館



色あせた「なまこ壁」建設から約30年、今後の維持の為に塗装を施したい。

「山名蔵」でございます。会員の皆様には、山名蔵の護持につきまして、格別のご理解ご協力を戴きますようお願い次第です。

なお、当事業につきましては、常任理事会のメンバーを中心に「山名蔵整備実行委員会」を組織し、法雲寺檀徒会と協力して進めて参りたいと思えます。

山名会会員の皆様には、当事業へのご理解、何卒よろしくお願いたします。

尚、寄付協力につきましては『一口当り5000円×任意口数（出来れば複数口以上）』のご協力をお願い出来れば幸いです。

詳しくは、後日お送りする趣意書をご参考にお願致します。

編集後記

新しい元号が令和と決まり、平成の時代も幕を閉じようとしています。一人の人が一代を担えるのは30年ぐらいと聞いた覚えがあります。昭和61年に発足した山名会は今年で33年。平成3年に出来た山名蔵は28年となり、どちらも一代を経て次の時代へと向かおうとしています。新たな時代の流れの中で、独自の存在感を持った山名会や山名蔵で有り続けることが出来ればと思えます。会員の皆様には、ご無理を申しませんが、ご協力の程よろしくお願いたします。